

50 イエスは上腕を回した。指差したのではない。

正しく読み取ろう 《聖マタイの召命》

2023

真鍋友範

絵を見て、絵を語ろう。



《聖マタイの召命》1600 カラヴァッジョ

さあ、見ましょう。イエスの右手を。  
指差しているのですか。これは指差すポーズですか。  
指先と手首に注目しましょう。  
指先は、第二関節部で折り曲がっていますし、手首も下に折れ曲がっています。  
どうすれば、この状態を真似られるのか。  
手首から先に力を込めなければ、同じ状態になります。  
日常生活で、このポーズが必要になる場面は、【向こう側を示したい時】で

す。

では、この場面で、そのような状況になったのは、なぜでしょうか。

そうです。聞かれたのです。ヒゲ男からの2段階の身体動作で。

ヒゲ男は左手の親指を自分の胸に当て、「探しているのは、私ですか」、続けて人差し指を隣の眼鏡の収税史に向け「こちらの方ですか」と。

でもなぜイエスは左手を開く必要があったのでしょうか。答えは、髭男からの質問への受容の合図だからです。

さらに不思議なのは、イエスの右足が、一步左に踏み出されている状態です。

なぜそのような動作が必要であったのか。

呼び出したい、目的の人物が見えない位置に立っていたイエスは、立ち位置を移動する必要があったのです。だから、一步横に踏み出して、視点を、よく見える位置に移動したのです。イエスは帰ろうとしている、とする解説など、とんでもない誤りです。

そして、イエスは上腕を回して、質問者の向こう側にいる眼鏡の収税史であるマタイを呼び出したのです。

【2段階の連続質問動作と、3段階の連続回答動作により構成された場面】です。

【この絵画に謎はありません。】あなたは\*絵痴（えち）ではないですよ。

絵痴（えち）：絵画音痴の略。絵画を正確に読み取れない人 音痴の対語（造語）